

出店者の声



大豆の苗、食べられる雑草、島オクラ、糖高インゲン

社会福祉法人ひまわり福祉会

くすの木

マルシェ初出店だったため、店舗のディスプレイなど、他店舗の作り方、商品の見せ方など参考になりました。他の出店者さんやお客様との交流もとても良い経験となり、商品についても、珍しいものはお客様に喜んでもらえると感じました。飲食店さんがお野菜などを使用しすぐに食べられるコラボメニューはとても興味があり、よい取り組みだと思います。また出店したいです。



新聞バッグ、野菜、Tシャツやバッグ、スウェーデン刺繍

社会福祉法人あさみどりの会

れいんぼうワークス

リアルなマルシェに出店させていただくのは初めてでしたが、参加できてとてもよかったです。商品ラベルのデザイン作成、新聞バッグの作成、花*花さんとのコラボ商品開発など、利用者の方の魅力や事業所の魅力を再確認して、いろいろなことにチャレンジする機会を頂きました。他の出店者の方と情報交換ができたこともよかったです。円頓寺商店街は雨天時にも開催でき、人通りも絶えずあるので来年も同じ場所で開催できるといいと思います。



一味唐辛子、マスクなどの雑貨

株式会社ウィンバートナース

ぽかぽかワークス

これまで、地域のマルシェやイベントへの出店してきましたが、初めて円頓寺商店街でのマルシェは非常に刺激的なものでした。円頓寺周辺の高齢の方もいれば若い方もいて、皆さんも気軽に話しかけられるような雰囲気でした。そのため、利用者さんも積極的に声をかけることができました。一同に参加して良かったと言っており、翌日からの仕事も積極的になっています。



ワイン、ワインゼリー、ジャム等

社会福祉法人AJU 自立の家

小牧ワイナリー

コロナ禍の中、久々のイベントに参加でき、なおかつ、ワインが良く販売できました。出店者で共通の機を留意したことで、一体感がありよかったかと思えます。円頓寺コラボメニューでは、商品化してほしいと思うくらいとても美味しいフルーツゼリーを作ってください、コラボできてよかったです。参加されていない商店街のお店の方からもお声がけ頂き、いろいろなお話が来ました。来年は、商店街の方々と一緒にコラボ商品を販売できるブースもあるといいと思います。



干し野菜、ゴーヤ茶、エコバッグ、Tシャツ等

NPO法人 花*花

干し野菜工房 花*花

利用者さんは日頃作っている製品の販売を通じて、購入して下さった方とのやり取りができ良かったと思います。たくさんの方々に商品を通して障がいのある方の活動を知って頂ける大切な機会でした。コラボ飲食店さんには美味しく魅力的なお料理を作ってもらい、お互いにそれぞれのお店の紹介とSNSでコラボの発信ができました。商店街の方から「トイレを使っていいよ」とお声がけいただき、とてもハートフルなマルシェでした。

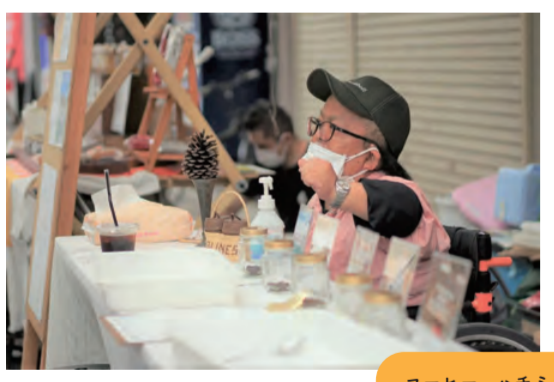


スプレー菊のブーケ、ブルーベリー、バターアイビー、レモンガラス等

社会福祉法人アパティア福祉会

シンシア豊川

他出店者の参考になるところをたくさん学びました。また、今後、連携につながる事ができるかも...と思えるつながりの可能性をみつけることができました。今までも販売は、月に1-2回行っていたのですが、今回のような盛況な販売は経験がなかったので、刺激となりました。豊川の田舎では、季節の野菜はなかなか売れなかったりしますが、やっぱり都会は違いますね。お客さんも多様性のある方がいて楽しかったです。今後も対面販売を行って、おいしい自然栽培野菜を育てます！



コーヒー、ハチミツ、ドーナツ、コーヒーのブレンド体験等

NPO法人 楽歩

ジョブ長久手

楽歩ジョブ長久手の事を知ってみたいお客様が数名見えました。珈琲好きの方が多く、楽歩の自家焙煎珈琲(スペシャルティ)の仕入、製造、販売等活動内容の話も聞いていただき、楽歩の事を知ってもらいながら販売ができたことがよかったです。今初めての出店でしたが楽しくお客様との接客ができました。



かき氷、野菜、しいたけ、野菜の収穫体験等

社会福祉法人 無門福祉会

むもんカンパニー青い空

地域の人を巻きこんで、福祉だけでなく、商店街も活性化できたのが良かったです。参加した利用者さんはその人の人生観が変わるほど喜んでいました。仕事の意味や役割がもて、必要とされていると感じたのではないかと思います。コラボ飲食店さんはどのお店もコラボをPRしてくれて、味もおいしかったです。何より自分たちの作った野菜を多くの飲食店さんに取扱ってもらえて嬉しかったです。販売している野菜が、すぐ食べれるのもよかったです。

愛知県からのメッセージ

本年度は、円頓寺商店街のご協力のもと、農福連携マルシェを開催することができました。当日は、農産物・加工品のほか、飲食店とのコラボメニューも提供され、農福連携について知っていただくよい機会となりました。県では、今後も農福連携の推進に努めてまいりますので、ご協力をお願いします。



AICHI NOUFUKU PRESS

あいち農福連携マルシェ

AGRICULTURE × WELFARE × MARCHÉ



2021年8月21日(土)に、第6回目となる「あいち農福連携マルシェ」が開催されました。今年度の開催地は名古屋を代表する商店街・円頓寺商店街。普段は毎週土曜日に農産物を中心としたマーケット「円頓寺サタデーマーケット」が行われるアーケードで、一日限定で「農福連携」をテーマとしたマルシェを開催。8つの福祉事業所がブース出店して販売をおこない、円頓寺商店街の8つの飲食店で農福コラボメニューが提供されました。地元の人を中心に、子供連れの家族や若い方、お年寄りの方まで、様々な年齢層のお客さんが来て、見て、食べて、楽しんで「農福連携」を体感していました。

What's "NOUFUKU"? ~農福連携って?~

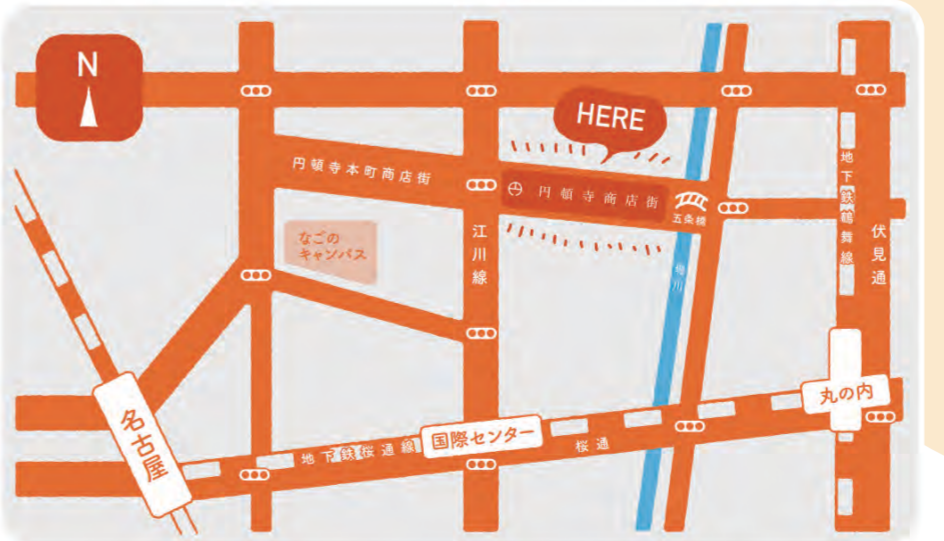
農業と福祉をつなげ、障がいのある方や高齢者が農業で活躍することで、農業の担い手の確保だけでなく、障がいのある方の賃金向上や、自信や生きがいを持った社会参画を実現していく、農業にも福祉にもWin-Winな関係の取り組みです。愛知県では「あいち農福連携」と称し、県内の障害者施設を中心に、その活動の輪を広げています。



この日は連日雨で、当日も雨予報。しかしみんなの想いが通じたのか、当日は一時小雨が降っただけで、とても過ごしやすお天気になりました。そんなこともあってか、商店街には予想よりも多くのお客さんで賑わいました。新型コロナウイルスの影響で静まりかえっていた商店街に、久々の活気が戻りました。

2021 あいち農福連携マルシェ

会場



会場になった円頓寺商店街は、名古屋駅から徒歩15分のところにあり、地下鉄の国際センター駅や丸の内駅からも徒歩圏内でアクセスがしやすい場所に位置しています。地元の人や自転車で乗りながら買い物をする下町情緒溢れる商店街でありながら、近年若者に人気のお店なども増えて、様々な年齢層の人が行き交う面白い空間です。アーケードのある全天候型の特性を活かして、新型コロナウイルスに対応しながらも、開放的なマルシェが実現できました。

「あいち農福連携マルシェ」は愛知県内での農福連携を推進するために2016年から毎年開催されてきました。

- 2016年 第1回マルシェを名鉄百貨店前のナナちゃんストリートで開催
- 2017年 第2回マルシェを名古屋三越前で開催の「あいち農林水産フェア」に出店
- 2018年 第3回マルシェを名城公園内にある tonarino マルシェに出店
- 2019年 第4回マルシェを名古屋市内のレストランで開催
- 2020年 第5回マルシェをオンラインと実店舗でのコラボメニューで実施





オープニングイベント

マルシェの開始に合わせて、午前11時に「喫茶、軽食、宿泊。なごのや」前の特設ステージにてオープニングイベント（開会式）を行いました。

始まる前からステージ周りにはたくさんの人通りが、オープニングイベントでは大村秀章愛知県知事や、愛知県農業協同組合中央会会長の長谷川浩敏氏にご挨拶をいただき、また出店者代表として無門福祉会の職員と利用者さんも挨拶をしました。各店舗の代表者もそれぞれのこだわりの商品を手持ってステージ周りに、最後は大村知事、長谷川会長にも各店舗の商品を持ってもらい、利用者の皆さんと記念撮影を行いました。



知事視察

オープニングイベント後、大村愛知県知事も各出店者のブースを回られました。どんな商品が売られているかを見るだけでなく、出店者の話を聞いて商品の野菜を買ったり、テイクアウトメニューのかき氷を食べられたりなど、実際に話して聞いて買って食べて、愛知県の農福連携の現状を視察されました。



ブースで商品をご購入

とにかく 楽しんで欲しい!!

「農福連携」という言葉を知ってもらいたい…障害のある利用者さんたちが作った野菜や商品がこんなに美味しいんだと知ってもらいたい…福祉に興味なかった人にも福祉に触れて欲しい…

…そんなことよりもまず、来てくれた人みんなに楽しんで欲しい!!
そんな想いで各出店者それぞれが工夫を凝らしました。



おそろいの TENT、テーブルクロス、フラッグで統一感

クイズなどで楽しませる工夫

吊るすなどしてディスプレイをアレンジ

かごや木箱を使って商品をより魅力的に

農作業の様子を写真で

シンシア豊川のブース。JAひまわりとの取組で作ったスプレーマムをブーケにして販売。クイズで正解したらプレゼントがあるなど、お客さんを楽しませるシカケを用意していました。

ワークショップ

販売だけではつまらない、ということで、マルシェ会場では実際に体験ができるワークショップがいくつか用意されていました。

下の写真は楽歩ジョブ長久手による「コーヒーのブレンド体験」。楽歩で焙煎された数種類のこだわりのスペシャルティコーヒー豆の中から、好きな味、香りの豆を選んでブレンドできるようにしていました。自分へのご褒美に、あの人のお土産に。



楽歩ジョブ長久手のブース 珈琲のいい香り

野菜スタンプのエコバッグ

3店舗以上のブースやコラが飲食店を回ると、無料で野菜スタンプのエコバッグづくりができるワークショップを用意。子どもだけでなく、大人も楽しみながら、色んな野菜が作る模様で、世界に一つだけのバッグを作っていました。

ちなみに今回のマルシェでは、紙袋を使ったり、エコバッグを持参してもらったり、新聞で作った新聞バッグを用意したりなど、プラスチックを極力使わないようにしました。



色んな野菜のスタンプでベタベタ

野菜以外にも

今回のマルシェは農福連携で作られた野菜や商品が中心でしたが、利用者さんそれぞれが持つ個性や得意なところを知ってもらいたい!ということで、一部利用者さんが作った商品も販売しました。

思わずぶと笑ってしまうイラストや手の込んだ刺繍など、どんな様子で作ったのかを聞くことで、さらに愛着が湧くこと間違いなし。



左から、ねこ、ねずみ、くま

想いを伝える

様々な場面で自粛が続く中、対面で販売するのは久しぶりという出店者も多く見られました。オンラインで発信したり販売することも可能な時代ですが、それでも目を見て伝えることで、想いが伝わる。

短い時間の中で、声をかけてくれた方々の間に確かな絆のようなものが生まれ、改めて早く日常に戻ってきて欲しいと強く思った一日となりました。



これは何ですか?から始まる相互理解

商店街に響きわたる 楽しい音楽と 優しい空気 <すぱっつ>



スペシャルゲストは花*花の利用者さん。

この日は特別ボーカルとして、出店者のひとつである「花*花」の利用者さんも歌を披露してくれました。見守る人、手拍子する人、踊りだす人。商店街の中に響く楽しい音楽に、お買い物をしている人も心なしかうきうきしているように見えます。父親の自転車の後ろに乗っていた小さな子供が手を振りながら「楽しいね!」と言っていたのが特に印象的でした。自粛が続き、子供たちも出かける場所がない中で、その子の夏休みの思い出になったかな。

商店街に響く楽しい音楽と、優しい空気。音楽の力を感じずにはいられない瞬間でした。



みんなノリノリ。踊りだす人も。

×円頓寺商店街

円頓寺商店街は名古屋で最も古い商店街のひとつと言われ、古き良き下町情緒と、新しい文化が融合した独特の魅力を醸しています。七夕祭りやパビリ祭りをはじめ、一年を通じて多くの人が集まる様々なイベントが開催されてきました。

コロナ禍で大きなイベントができなくなり、それでも「日常の中にちょっとした楽しみを」ということで始まったのが「円頓寺サタデーマーケット」。あいち農福連携マルシェ2021は、この円頓寺サタデーマーケットとコラボすることで、今まで届けられていなかった人に農福連携の魅力を知ってもらうだけでなく、出店した福祉事業所にも新たな発見をもたらしました。

円頓寺商店街振興組合 理事長 田尾大介さん
「喫茶、食堂、民宿。なごのや」店主



今回は、日々農福連携で農業に携わっている皆様と一緒に、円頓寺商店街の賑わいづくりができたこと大変感謝しています。

農福マルシェでは、みなさんの日々の活動の積み重ねから生まれた様々な農作物で商店街が彩られ、お客様にもそして我々商店街の店主もとても豊かな時間が過ごせたと感じています。このイベントがきっかけで、福祉のこと、農業のこと、そして商店街のことが、多くの方に伝わり興味を持っていただくきっかけになりました。今後も商店街としてみなさんと手を取り合って一緒に農福連携に貢献できることを願っています。

×プロの料理

円頓寺商店街にある8つの飲食店が農福連携商品を使ったコラボメニューを提供してくれました。来場したお客さんは野菜が買えるだけでなく、その場で農福野菜を楽しめるということもあり、ランチは大好評。出店者もプロの手により変身した自分たちの農福連携野菜や商品の美味しさにとても感動し、さらに自信を持つことができたようでした。

ランチ終わりには、料理を作った飲食店の方がブースに赴き「あの農福商品は本当に美味しかった」とフィードバックを伝えるひとも。福祉の垣根を越えて「お客さんに美味しいものを届けたい」という想いで繋がった瞬間でした。

円頓寺商店街振興組合イベント統括担当 サキアテジョーグー店主 石倉直人さん



<プロの手による農福コラボメニュー>



すぱっつ
愛知県で活動している、おかしく熱く熱いが脱力系の5人組バンド。ライブハウスや福祉施設のイベントなどで活動中。

コラボ menu 提供飲食店

8つの飲食店さんが農福連携で作られた野菜や商品を使って、美味しいランチやデザートを提供してくれました。

- アランチャ 玄米もち麦の野菜グラタン、茸と乾燥野菜のブラックソース 他
- サキアテジョーグー 夏野菜たっぷり愛がけカレー
- トゥクトゥクイツ 空心菜炒め
- なごのや ナスナポリタン
- ヌードル麺和 野菜たっぷりオマールエビのつけ麺
- バルドゥフィ 色々野菜のカポナータ
- マミーズコーヒー 小牧ワインの白ワインゼリー
- わざもん茶屋 わざもんばふえ SP

ノウフク カケル マルマル

農福 ×

今回の「あいち農福連携マルシェ」は例年よりもパワーアップ! さらに農福連携商品の魅力を知ってもらうために、コラボレーションを実施しました。

当日の様子は
円頓寺サタデーマーケットラジオ
でも見るができます!